

「密」が続く飛行場

10月19日配信

スペイン「テルエル空港」の場合

新型コロナウイルスの影響で世界の航空会社の旅客機の多くが使用されずに地上で待機（たいき）しているそうです。

ヨーロッパではスペインのテルエル空港に使われない飛行機が集められているそうです。新型コロナウイルスのため地上で保管する飛行機が増大する前からこの飛行場で保管される飛行機は多かったのですが、今回保管機が急増したそうです。

この飛行場周辺は乾燥しているため、旅客機の保管には便利なところだそうです。エールフランスやルフトハンザ航空の飛行機もいます。

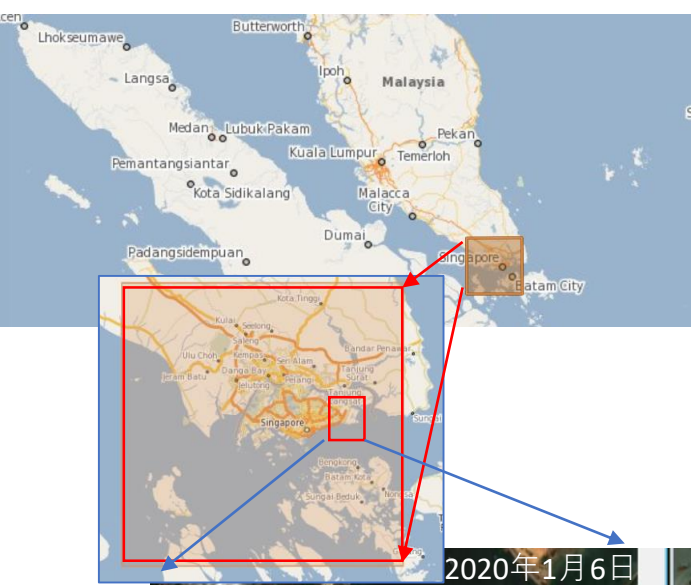
2019年9月26日



2020年9月5日



<シンガポール・チャンギ国際空港の場合>



シンガポールには、4000[㍎]の滑走路が3本ある、チャンギ空港があります。
島の東側にあり広大な敷地（しきち）があります。

1月6日の画像ではターミナル周辺に少し駐機しているだけでしたが、10月2日のそれでは飛行場内のいろいろな場所に駐機してあることが確かめられます。すごい数です。

2020年1月6日
センチネル2



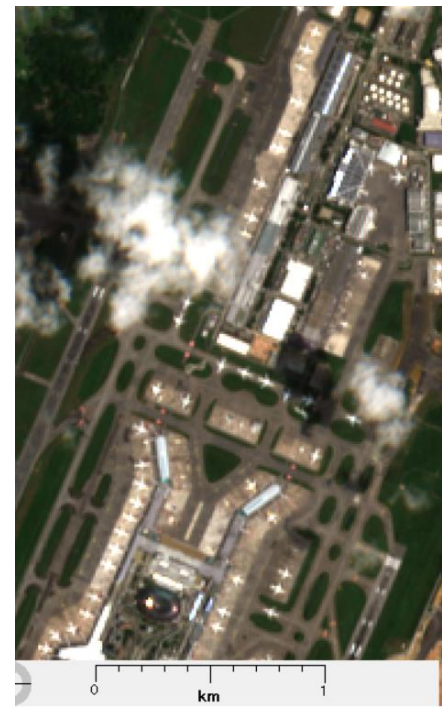
滑走路は3本

いずれも400[㍎]長
①②③

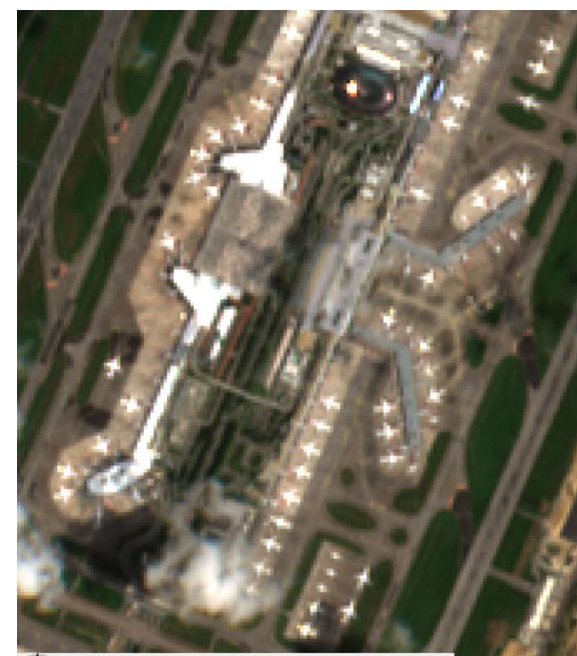
2020年10月2日
センチネル2



10月2日
一部拡大
北側



南側



< トウールーズ・ブラニャック空港の場合 >



2020年1月11日センチネル

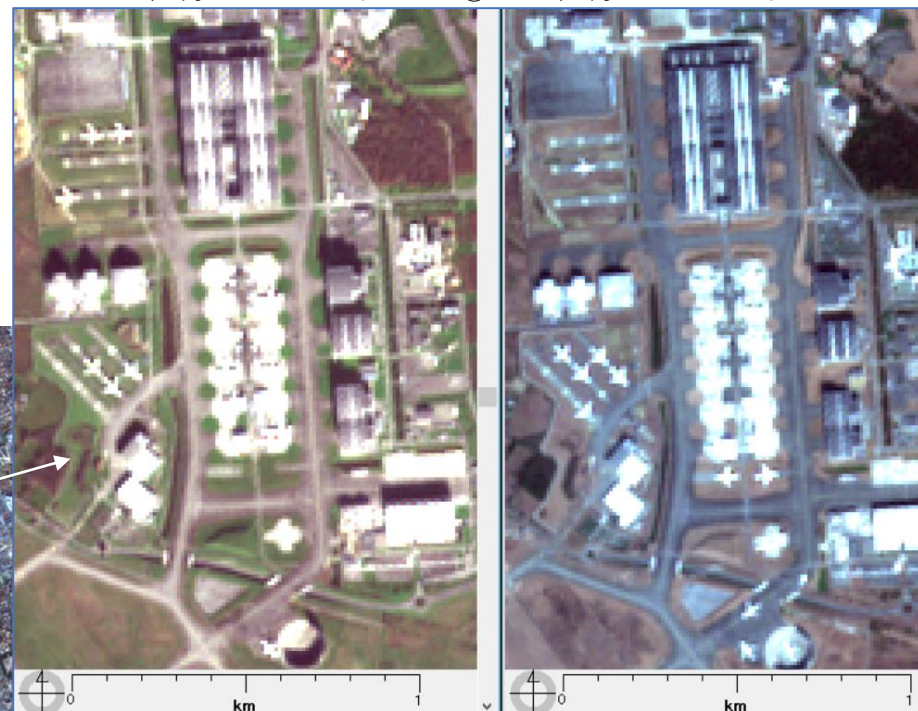
②2020年9月17日センチネル2

「YACかわら版41」で「トゥールーズ空港」を取り上げました。アメリカのボーイング社とトップを競う世界最大級の飛行機工場に隣接した空港です。この工場も生産数が少なくなっています。

衛星データでは、空港や工場敷地内に見える飛行機の数はいくつ減っているのでしょうか。生産数を落としているのでしょうか。

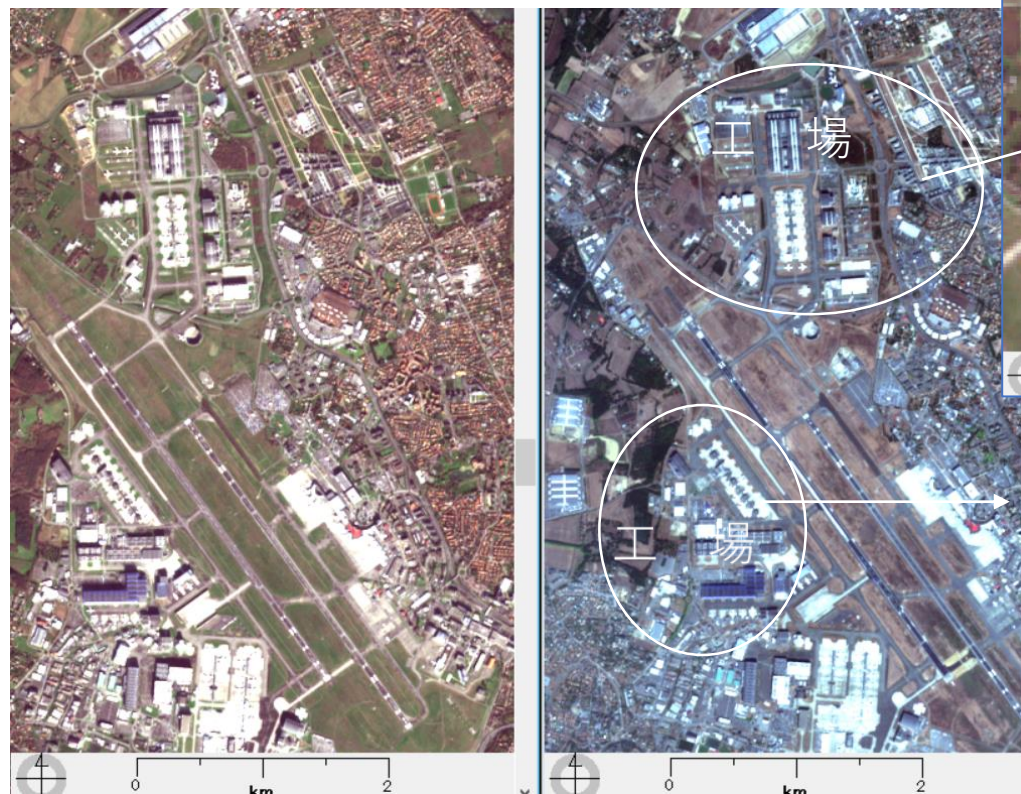
2020年1月11日センチネル

②2020年9月17日センチネル2



2020年1月11日センチネル

②2020年9月17日センチネル2



工場



工場



空港施設

今回のデータは全て@ESA